

平成 23 年度 森里海連環学実習 A

芦生研究林ー由良川ー丹後海コース

ガイダンス資料

京都大学フィールド科学教育研究センター

山下 洋・長谷川 尚史・益田玲爾・佐藤真行・

上野正博・中西麻美・甲斐嘉晃・安佛かおり

●実習の趣旨

京都府の北部を流れる由良川は、京都大学芦生研究林を源流とし丹波地方を流れ若狭湾西部の丹後海に注ぐ。本実習では、芦生研究林内の溪流と森林の観察、由良川に沿って上流域から和知、綾部、福知山を経由して河口域までの水質調査、魚類や水生昆虫などの水生生物調査、土地利用様式の調査を行う。森林域、里域、農地、都市などの陸域の環境が、由良川の水質、生物多様性、食物構造などにどのような影響を与えているかをじっくり観察し、森から海までの流域を複合したひとつの生態系として捉える視点を育成する。

●実施内容

1. 期 間 : 平成 23 年 8 月 8 日 (月) 午前 9 時京大農学部発 (農学部バス利用)
8 月 12 日 (金) 午後 6 時京大農学部着 (農学部バス利用)
2. 実施場所 : 京都大学フィールド科学教育研究センター芦生研究林
〒601-0703 京都府南丹市美山町芦生
Phone : 0771-77-0321 Fax : -0323
: 京都大学フィールド科学教育研究センター舞鶴水産実験所
〒625-0086 京都府舞鶴市長浜無番地
Phone : 0773-62-5512 Fax : -5513
3. 宿泊場所 : 京都大学フィールド科学教育研究センター芦生研究林宿泊棟
京都大学フィールド科学教育研究センター舞鶴水産実験所宿泊棟
連絡先は上記に同じ
- 4. 集合場所: 8 月 8 日午前 8 : 45 京都大学北部構内グラウンド手前 (基礎物理学研究所の先) のバスプール。集合時間に間に合わないか参加できなくなった受講生は、中西 (携帯電話の番号およびメールは追って連絡) あるいはフィールド研 ICM(075-753-2263)に連絡してください。
5. スケジュール:
8 月 8 日 (月) ガイダンス(バスの中)、実習「芦生研究林、由良川源流域の観察・調査」(芦生泊)
8 月 9 日 (火) 実習「由良川上・中流域調査」 (舞鶴泊)
8 月 10 日 (水) 実習「由良川下流・河口調査」 (舞鶴泊)
8 月 11 日 (木) 実習「水生生物、水質分析」、調査結果の整理・解析 (舞鶴泊)
8 月 12 日 (金) 調査結果のまとめ・発表、レポート作成

*フィールド実習項目：森林構造観察、森林動植物観察、森林土壌観察、シカ害の影響調査、流域利用実態観察、河川環境観測、採水、水生生物（プランクトン・水生昆虫・甲殻類・魚類）採集
*ラボ実習項目：水質(栄養塩、懸濁物質)、プランクトン観察、水生生物分類、捕食者胃内容物分析、データ解析

6. 費用：約10,000円

これに含まれるのは宿泊費、食費などの実費(8/8~8/12)のみ

7. 募集人員：20名（京大10名、他大学10名）

8. 持参すべきもの

運動靴（水に入ります）、山歩きのできる靴（長靴、トレッキングシューズなど）、カッパ、帽子、軍手、作業着（長袖上着、長ズボン：とくに山歩きに半袖半ズボンは危険）、タオル、水着（河川調査で必須です）、水筒（ペットボトルの水等でもよい）、筆記用具、ものさし（15cm以上）、電卓、腕時計、レポート用紙、着替え衣類、洗面具、日焼け止め、常備薬、防虫グッズ、健康保険証またはその写し、傷害保険加入証、小型ザック（移動中のもの入れ）、その他の日常生活必需品、その他（サンダル、釣り道具、カメラ etc）、（ビーチサンダルで川、海に入るのは危険なので禁止）

9. 注意事項

- ①往復はバスを利用します。
- ②8月8日の昼食を持参のこと。芦生までの往路にコンビニに寄ることは可能です。
- ③**必ずフィールド実習をカバーする学生傷害保険に加入のこと。保険に加入していない学生の参加は認めません。**
- ④各施設利用者心得を守ること。
- ⑤夏の実習なので健康管理に注意すること。
- ⑥京大生はテキストを、8月3日（水）以降フィールド研事務室までとりに行くこと。事前に読んでおき、実習には忘れずに持参のこと。

10. 問い合わせ

京都大学フィールド科学教育研究センター（以下の電話番号のどちらか）

中西麻美 075-781-2424 email: asa@kais.kyoto-u.ac.jp

ICM（海域陸域統合管理学研究部門） 075-753-2263 email: icm@kais.kyoto-u.ac.jp